

【MedTec Forum】 医療科学主専攻のカリキュラム

二 宮 治 彦 (人間総合科学研究科・先端応用医学専攻/臨床医学系)

大学の受験生・入学生というのは、一般に、大学のカリキュラムについて、どの程度の情報収集をしてから受験・入学をしてくるのでしょうか？私自身の場合は、入学後のカリキュラムを全く知らないで受験しました。もちろん、卒業後の進路はわかった上で受験はした。医療科学主専攻の在学生諸君はどうでしたか？あまり情報を公開していなかったのも、おそらく、カリキュラムよりも、卒業時の資格、就職・進学先、学生生活・文化環境といった点を重視し、カリキュラムについては期待を胸に入学したことでしょう。

実際に入学した後でも、1 & 2期生は年次進行で時間割が示されてきたので、学生は未だ全容をはっきりとは知らないでしょう。

この度、来年度(平成17年度)のカリキュラム編成を終了しました。時間割を編成する段階で多くの担当教員との議論を経て、カリキュラムの開設年次を一部変更しました。卒業に必要な単位数や開設科目には変更ありません。来年度は1～3年次生向けの時間割が設定されたわけで、これで実質的には4年間のカリキュラム構成が完成したことになります。以下、主専攻のカリキュラムの概要・特長を紹介します。

表1(文末)には医療科学主専攻のカリキュラムの概略図を示しました。

必修科目：卒業要件として、計119単位(基礎科目24単位、専門基礎科目26単位、専門科目69単位)の履修が必要です。筑波大学全体で開設されている共通科目や、卒業時に「臨床検査技師」国家試験を受験するために指定されている科目を中心に開設されています。

選択科目：卒業要件として、計7単位(専門基礎科目2単位、専門科目5単位)の履修が必要です。医療科学主専攻のカリキュラムの最大の特長は、選択科目の開設している分野の幅の広さと

選択肢の多さでしょう。基礎・臨床・社会医学の分野から幅広い選択科目が開設されています。

専門基礎科目の選択は、分子生物学・神経科学・遺伝情報学・細胞システム学・生命倫理学・救急医学・臨床心理学・疫学・・・計14単位の開設科目から2単位以上を履修する必要があります。また、専門科目の選択は、酵素化学・ウイルス学実習・国際保健医療協力論・神経情報生理学・・・計27単位の開設科目から5単位以上を履修する必要があります。できあがった時間割(主専攻のHPから閲覧ください)は非常に混み合っていますが、意欲的に履修すれば上記のすべての開設科目を履修することも出来るようにしてあるのです。しかし、あまり欲張らないようにして自分の志向する専門性を意識し、また、模索しながら、文字通り選択履修するようにして下さい。

他学類が開設している科目で履修したい科目はこのような選択科目の時間や、自由科目として設定している第2外国語の時間を利用するのがいいでしょう。

しかし、せっかく大学にきたのですから外国語は英語以外に、もう1つ履修しておくことをお勧めします(卒業要件に関係しませんが・・・)。

卒業研究：卒業研究は3年次の3学期から約1年をかけて行ってもらうことにしました。この間にも講義・実習・臨床実習などがありますので、卒業研究だけに専念するわけではありません。研究テーマの決定方法は未定ですが、医療科学主専攻の専任教員のみならず医学部門の先生方にも協力頂けることを予定しております。卒業後に大学院の修士課程や博士課程へ進学する予定の学生さん、特に、筑波大学の大学院への進学を予定する学生さんは卒業研究を指導して頂く教員や研究課題の決定は慎重に行いましょう。おそらく、3年次2学期に指導教員・研究テーマを学生諸君に呈示して決定することになります。

す。

卒業研究終了時には、発表会(論文審査会)と論文集の発刊(On-Line か?)を行います。

臨床実習: いわゆる病院実習は4年次に行います。筑波大学附属病院検査部・病理部において、いくつかの部門をローテーションする形式でおよそ1学期をかけて実施します。医療技術短期大学部時代から臨床実習は行っておりましたが、より実りあるものにすべく、これから1年をかけて病院の各部門と協議していきます。

臨床検査技師国家試験への対策: 国家試験は4年間かけて修得した知識と技術を試されるものです。特別な対策をするための時間を設けることは予定しておりませんが、「学内模試」を4年次に実施するように準備を開始しております。この学内模試を解説する時間などは設けるかもしれませんが、4年次の夏季休暇以降は卒業研究・就職活動・進学準備と平行して国家試験の準備も行ってください。実際には「臨床検査技師」として就職しない学生さんも、国家資格はとれるときに是非とりましょう。

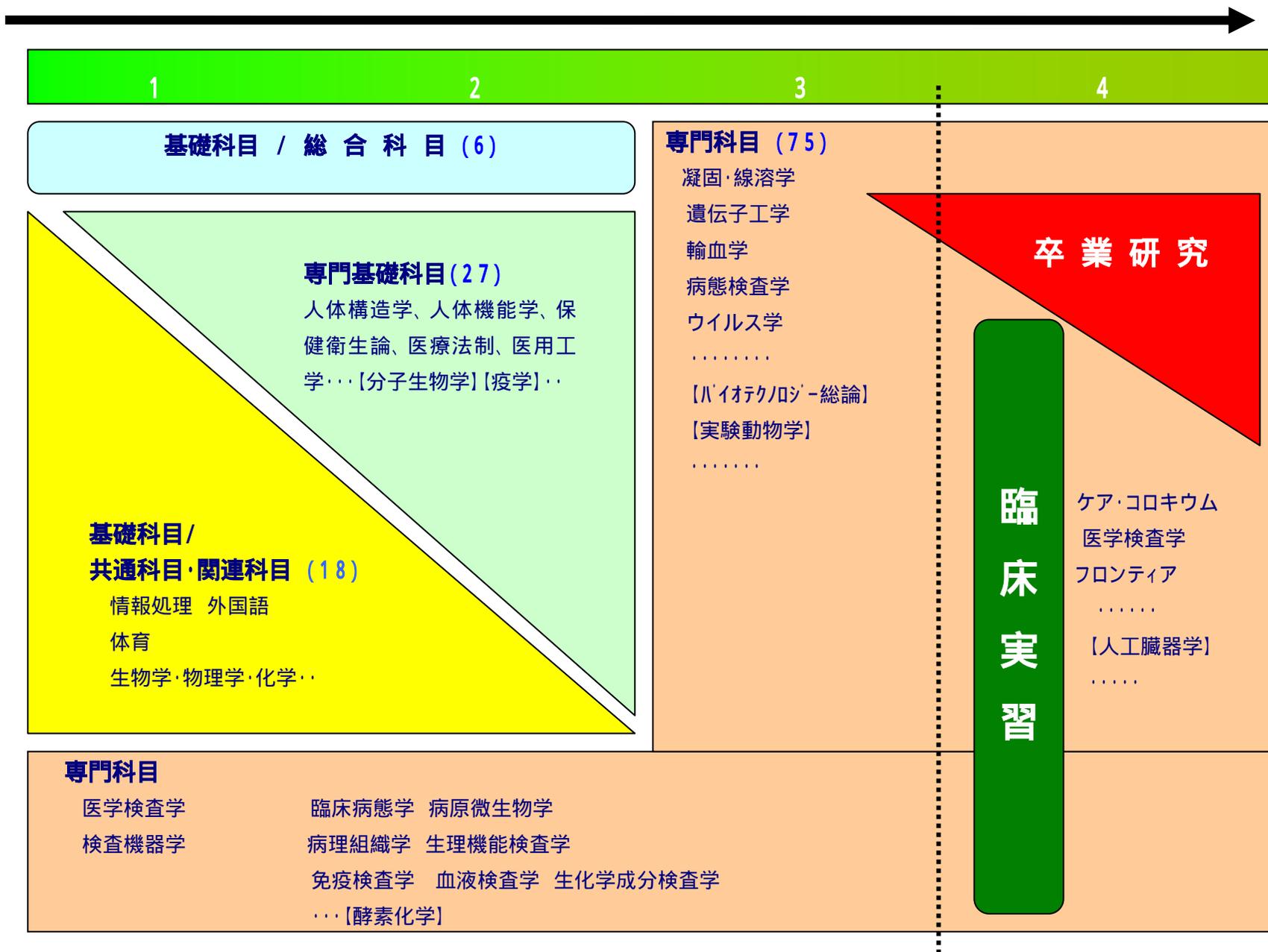
編入生への対応: 医療科学主専攻は3年次に3名の編入学生を毎年迎えます。編入学生も卒業時には学類生としての卒業要件を満たす必要があります。入学前に在学していた学校などで履修した科目で単位認定できる科目があるはずなので、これらを単位認定する一方で不足する科目を履修してもらいます。総合科目、英語などの単位数が不足することが予想されるので3年次には編入生を中心にこれらの科目を履修するための時間割を設けました。一方で、臨床実習など単位認定が出来る科目もあるので、これらの時間を利用して不足する単位を効率よく履修して卒業に必要な科目を履修するようにしてください。

必修科目は基本的には開設年次に履修しないといけません。翌年には別の必修科目を履修しなければならないからです。出来るだけ、皆さんがストレートで卒業できるように……。

せっかくの大学生活です。学問の分野でも充実した学習が出来るようにしてください。また、カリキュラムの改善のためには学生諸君の評価が欠かせません。教育評価に関するアンケートなどには真摯に協力頂けることを期待します。

休講になれば喜び、易しい試験で単位さえ獲得できれば喜ぶ雰囲気蔓延することを危惧しています。せっかく入学を許され、「前売りのチケットを買って映画館に入場しているのですから、映画が上映されなかったり、映画がおもしろくなかったらクレームするのが当然だと思うのですが……」。学生諸君の真の目的に役立つカリキュラムとコンテンツであることを日々検証してください。

表1. 医療科学主専攻のカリキュラム概略図



【 】は選択科目、()内の数字は卒業に必要な修得単位数